

当院ICUにおける持続的血液浄化療法施行時における回路凝固発生に関する後ろ向き検討
- 後ろ向き観察研究 - に関するお知らせ

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

【研究の方法】

1. 研究の対象

2019年1月1日から2023年1月31日までに藤田医科大学病院のICUに入室した18歳以上で持続的血液浄化療法を受けた方

2. 研究の目的・方法・研究期間

当院ICUでは、過剰な炎症反応が臓器障害へと進展するのを阻止することを目的に持続的血液浄化療法(CBP)を積極的に施行しております。しかしながらCBP施行中に、予期せぬ回路凝固が生じることを経験します。回路凝固が生じた場合、治療中断だけでなく、患者様の血液喪失につながるという問題が生じてしまいます。また頻回な回路交換は医療従事者にとっても大きな負担となるため、回路凝固の発生を減少させる方法を見出すことが不可欠です。これまで回路凝固発生に関する研究が行われていますが、回路凝固を防ぐための一定の見解がないのが現状です。そこで当院ICUにて急性血液浄化を施行した患者様を対象に、CBP施行中に生じる回路凝固に寄与する因子を明らかにするために、後ろ向きに研究を計画しました。

研究期間は、倫理委員会承認日から2023年11月11日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

当院ICUのデータベースおよび急性期看護情報システム(Mirrel)、電子カルテを元に、患者様の年齢、身長、体重、性別、既往歴などの背景因子の他、血液浄化療法の種類、施行回数、フィルター寿命、生存率などを解析します。本調査は純粋な調査研究であり、患者さんへの直接的な介入や侵襲はなく、いかなる利益・不利益も生じません。また、情報はすべて匿名化され、個人が同定されることは決してありません。

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

研究責任者：藤田医科大学 医学部 麻酔・侵襲制御医学講座 教授 西田修

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。なお、当ホームページ掲載後1年以内にお申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し下さい。

研究責任者：藤田医科大学 医学部 麻酔・侵襲制御医学講座 教授 西田修
問い合わせ先

藤田医科大学病院 臨床工学部 ME管理室 清水弘太
住所：愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 - 9 8
電話：0562-93-2249